3. 親子のコミュニケーション①<子どものいいところ>

② うちの子、お手伝いできるモン

≪ねらい≫

お手伝いは、子どもの自主性や自尊感情を育てる。そこで、お手伝いの様子を情報交換しながら、子どもが進んでお手伝いできる方法について考える。

≪準備物≫

○ファシリテータ:ワークシート

○参加者:筆記用具

	時間	主な活動		留意点		
		1. 学習のねらいの確認				
導入		きょうは、家庭でのお手伝いや子どもさんの様子を話しながら、本当はさせたいまや、進んで楽しくお手伝いさせる工夫について考えてみましょう。その前に、心と体をクスさせましょう。				
		2. アイスブレイク 肩たたき	アイスブレイク編参照	• 4 人グループをつく る。		
(10)		3. ルールとマナーの確認	P. 3参照			
	5		4. 最近してくれるようになった お手伝いを ワーク 1に記入しま しょう。			
展開	15	(ワーク2) ・お手伝いさせるための工夫	5. 各家庭のお手伝いについて紹介し合いましょう。 ・その後、子どもにさせたいお手伝いベスト3をグループで話し合いワーク2に記入しましょう。・子どもに進んでお手伝いさせるための工夫について話し合いワーク3に記入しましょう。			
(30)	10	6. グループごとに発表する。	6. どんなお手伝いがベスト3に なりましたか。その理由とお手 伝いさせるための工夫を発表し ましょう。			
	5	7. ふりかえり	7. 今日を振り返って感じたこと、 気づいたことをワークシートに まとめましょう。			
まとめ	5	8. まとめ 今日は、各ご家庭のお手伝いに	ついて、意見交換していただきまし	た。お手伝いできるこ		
		今日は、各ご家庭のお手伝いについて、意見交換していただきました。お手伝いできることが増えると、子どもの成長を感じますね。感謝の言葉を伝えることによって、子どもは「誰かの役に立てる」と感じます。これは、子どもの成長に、とても大切なことです。「またやってみよう」と思えるような工夫をして、お手伝いを増やしていきましょう。				
(10)						

うちの子、お手伝いできるモン

みなさんは、家事に育児に多忙な毎日を送っていると思います。そんな中、子どもがお手伝いをしてくれるとうれしいですよね。今日はひとまず「親ばか」に徹して、最近してくれるようになったわが子のお手伝いをみんなに自慢しながら、子どもの成長を確認しつつ、その様子を話してみましょう。



ワーク 1 最近してくれるようになったお手伝いを書いてみましょう。

お手伝いの内容や子どもの様子	きっかけ	かけたほめ言葉

ワーク2 子どもに手伝ってもらいたいことベスト3!!

	理由	
1位		
	理由	
2位		
	理由	
3位		

ワーク3 進んでお手伝いさせるための工夫





今日を振り返って